

第5回中海自然再生協議会

平成20年3月8日(土) 15:00~17:00

鳥取県西部総合事務所 講堂

協議会に先立って、前回協議会に引き続き自然再生勉強会(13時~14時30分)を以下のように行った。

「中海の自然再生や水環境保全に関連した各行政機関の取り組み」

- 国土交通省(出雲河川事務所):中海における「浅場造成」事業の紹介
- 農林水産省(中国四国農政局整備部地域整備課):平成19年度農村景観・自然環境保全再生パイロット事業などについて紹介
- 環境省(米子自然環境事務所):ラムサール条約と条約湿地、中海における中国四国地方環境事務所の取り組みについて紹介
- 中国経済産業局資源エネルギー環境部:(欠席)平成20年度に中海と瀬戸内海地区をモデルに水環境修復技術の国内外展開方策を検討することなどの文書紹介
- 米子市:第4期中海水質保全計画(平16~20年度)に係る事業の実施状況の紹介
- 安来市:中海の自然再生や水環境保全に関連した安来市の取組みの紹介
- 境港市(産業環境部環境防災課):中海の自然再生や水環境保全に関連した取組み紹介
- 東出雲町:(欠席)
- 松江市(オブザーバー):(欠席)
- 島根県:第4期宍道湖・中海湖沼水質保全計画、ラムサール条約湿地の賢明利用推進事業等の紹介
- 鳥取県(西部総合事務所):中海の水質浄化・自然再生と賢明利用に係わる現状と取組みについて紹介

以上の各行政機関の関連事業の紹介の後に一括して質疑応答を行った。

「議事要旨」

- ・第5回協議会を2008年3月8日(土)に鳥取県西部総合事務所で行った(出席者名簿別記)。高安会長から挨拶があり、引き続き議事を進行した。

議 題

1) 全体構想の策定(第3次案)について

全体構想専門部会で取りまとめて提案された事業計画(案)にもとづいて協議を行なうこととした。第4回までの協議会では会員個々の意見が出にくい状態もあつたことから、グループにわけて自由に議論する方法を提案し、賛同を得たので、人数を考慮して、くじ引きで6つのグループに分けて討論を行うこととした。まず、グループ提案の前に、全体構想専門部会国井部会長より全体構想の内、自然

再生の目標及び関与表の説明があり、中海の目指すべき姿について、大目標「豊かな漁場、遊べるきれいな中海（案）」、5つの推進の柱とそれぞれの具体的目標（複数）がこれまでに出版されているが、これらも含めて改めて議論をしていただきたいこと、その上で、中海の目指すべき姿のキャッチフレーズをまとめていきたいとの提案があり、各グループごとの討議を約40分間行った。グループごとのまとめは、それぞれで選出された代表者により全体会議で報告され、これらを踏まえた討論を行った。最後に国井部会長から、全体構想はここで行われたように参加者全員で考えるのが基本であり、出された提案については再度全体構想部会で検討すること、次回（5月17日）の協議会までにまとめる必要があるので、大目標（キャッチフレーズ）を含めて提案を3月末日までとしたいとの発言があり、了承された。

2) 今後の進め方について

次回協議会は5月17日（土）鳥取県西部事務所講堂（13:00～17:00）で行うこととした。

協議会の事務局については現在は自然再生センターが担当しているが、今後のことを考えると、行政機関が関与することになるので、事務局についても担当してほしいとの要望がなされ、今後、具体的に検討して行くことになった。

報告事項

1) 西日本自然再生協議会連絡会議への参加報告

NPO法人自然再生センター徳岡理事長より会議参加の報告があった。

2) 自然再生推進法5年経過に伴うヒアリングへの参加報告。

参加した船越副会長氏及び島根大学相崎教授から報告があった。

3) その他

・飯梨川流域部会、崎津地域部会、安倍彦名部会からの報告があった。

・20年度環境技術開発等推進費の採択について、自然再生センター事務局長相崎氏より採択が決定したとの報告があった。

・子どもエコクラブの会員募集について、会員募集要領の説明と協力の要請がなされた。

（以上）